

リと心を打念佛にせしよりあつひ念仏と云ふ  
成しこれららの数多のよしとらとて中興宗山と  
いひつる一と古例よしとらとて此形あり  
これあとも奇とていふ

浪華十宗一書

天王守隆

任右郎公

佐治鴻俊

田兼満壽

須磨の浦風

明石の夕霧

生駒山時

葛城の花標

正ヶ嶽雪

難波津の夏月

お人男の事

元禄年中市中とて多し桃源とていふ人者残らず  
御仕置何れとて名義いふとて一室よあま世よみ  
人男といふ者甚狂云も残りて世の志あり

奈良屋町ノ金屋七左衛門源助

鷹金文七

二十七日

己二月十九日入牢二度入  
元禄十三年八月廿六日死  
罪獄門

三島町中ノ町今津屋七左衛門源助  
極下屋三郎

極下の子左衛門

二十三日

己二月廿二日入牢  
元禄十三年八月廿六日  
死罪獄門



同封

信守町内屋吉右衛門備家

虎の平之備  
二十七

同封

坂本町かきたより子全之備備家

かきたより子全  
三十二

年七月廿三日入牢二夜入  
死罪同封

宿る

ほての市右衛門  
二十九

西世屋町根屋吉右衛門備家中元吉右衛門  
同家舎方

已十二月廿二日牢死

宿る

かきたよりの吉右衛門  
二十五

已十二月三日牢死

宣原屋吉右衛門  
三十七

年八月廿日牢死

社町増田屋吉右衛門備家次子備後家持

とび助右衛門  
三十四

年四月廿九日牢死

宿る

かきたよりの吉右衛門

元禄十二年七月八日持行  
毒必速致

以上

濱坂町播磨屋吉市之備備家六子備後家持

おんらの子之備  
二十七

鷹金文七

虎の平之備

極子之備

神守屋九郎



ほての市書

此者甚大賑し〜又〜ふ〜んろ賑し〜とら所申  
る夜〜河〜れ手負と町人を難儀し〜とら科よあり  
て鉄門より〜も也

施り米代事

正徳四甲午年秋文敷高直より米を名代貳百石給ぬり  
梅和尚大坂町と勧進〜河津陀池和光寺に於て  
貧窮人より米貳合り施り群集る〜り後石施米  
九人数三拾百五人余以米代銀百二拾貫目余也又の追々

富家より米後の施主河重と諸人命をた〜り是御  
より梅和尚の仁急より〜懐ひ〜り〜

松友御仕置の事

享保四年己亥十一月唐証密高者五人言麻搦り〜三喜間  
〜野はよあり〜鼻と〜と〜後浪浪と〜  
〜は押お成は松友御仕置るり

諸國作物出附より高札事

享保十七年詔書の作物〜出附より貧窮の者飢死〜